

伊予地区消防操法大会開催



▲神崎班

9月7日（日）、双海町みどりの広場で、第24回伊予地区消防操法大会が実施されました。

松前町からは、小型ポンプ操法の部に神崎班、ポンプ車操法の部に宗意原班が出場しました。

各班の選手は、日ごろの訓練の成果を十分に発揮し、習得した迅速・確実な消防技術を披露し、見事、小型ポンプ・ポンプ車ともに優勝を収めました。



▲宗意原班

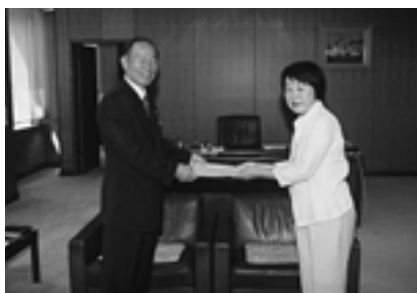
宗意原班、神崎班は来年開催される第23回愛媛県消防操法大会に出場します。

男性も女性も輝く社会へ

男女共同参画社会の確立に向けて、女性代表からなる「男女共同参画計画策定委員会」を設置し検討してきましたが、9月2日（火）、松岡陽子委員長から白石町長に「男女共同参画計画・まさき」が答申されました。

松前町では昨年4月から、男女が互いに人権を尊重し、その個性と能力を十分に発揮できる社会を計画的に推進していくため、計画の策定に向け様々な取り組みをしてきました。これまで、広報まさき2月号で「男女共同参画に関する町民意識調査」の結果をお知らせし、また、男女共同参画意識の啓発を目的として、講師に遥洋子さんを招いてフォーラムを開催するなど、住民の皆さんへの浸透に努めてきました。

今後は、この計画に基づいて取り組み、住民の皆さんとともに進めていきます。



▲松岡陽子委員長から答申が白石町長に手渡されました。

住民基本台帳 ネットワークシステム 第2次稼働

昨年8月に、全国の市町村の住民基本台帳と都道府県・指定情報処理機関をネットワークで結び、電子政府・電子自治体の基盤をつくる住基ネット1次サービスが開始されました。

そして、8月25日（月）から、住基ネットでの本人確認に利用できる住基カードの交付申請の受付と、全国どこの市町村でも自分や同じ世帯の方の住民票の写しが取れるようになる住基ネット2次サービスが開始されました。

松前町でも、当日住基カードの申請に12名の方が、また、松前町外の住所の方が、広域住民票（戸籍の表示を省略したもの）の申請をされました。



▲住基ネット2次サービス開始当日、町民課窓口では、12名の方がカードを手にとられました。